

CIR Insights 16

[東北大学生・教職員のための教育データレポート]

2023年春号 東北大学出身者に関する自己評価・他者評価

東北大学出身者はどのように評価されているのでしょうか？本号ではこの問いに答えるため既存の複数調査を比較しました。その結果、本学出身者は、自己評価・他者評価のいずれにおいても、他者を理解しつつ協力し、自律的に学びながら問題解決に当たる能力や「専門分野に関する知識や技能」が比較的高いことがわかります。他方、雇用者が新卒採用者一般に期待する「リーダーシップの能力」「異文化の人々と協力する能力」は自他ともに評価が高くはありません。専門知識が豊富で真面目且つ協調的な反面、リーダーシップや積極性を発揮して新しいことに挑んでいくのがやや苦手。そんな本学出身者像が垣間見えます。

CIRとは？

教育評価分析センターのこと。東北大学における教育・学習活動の体系的なデータ収集・分析を行い、本学の教育マネジメントを支援する組織です。

東北大学
高度教養教育・学生支援機構
教育評価分析センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41
Tel: 022-795-4931
Fax: 022-795-4749
E-mail: cir@ihe.tohoku.ac.jp
http://www.cir.ihe.tohoku.ac.jp

以下の図は、「雇用者が新卒採用者に期待する能力^{※2}」を期待度に応じて3つの群に分けた上で、「卒業・修了生の自分の実力評価^{※1}」と「雇用者の東北大学出身に対する評価^{※2}」の違いを表しています。

参照データ：

- ※1 第4回東北大学の教育に関する卒業・修了者調査(2012・2016・2020年に卒業・修了した人が対象/教育評価分析センター)
- ※2 2021年度東北大学の教育に関する雇用者調査(キャリア支援センター)

卒業・修了生の自分の実力評価(自己評価)

平均値が相対的に 高い 普通 低い

東北大学出身者に対する雇用者側の評価(他者評価)

平均値が相対的に 高い 普通 低い

雇用者調査の自由記述からの抜粋

東北大学出身者の強みと感じられる能力

東北大学出身者に不足している能力



雇用者が新卒者に一般的に期待する能力を上位、中位、下位の3つの段階に分けてみると……

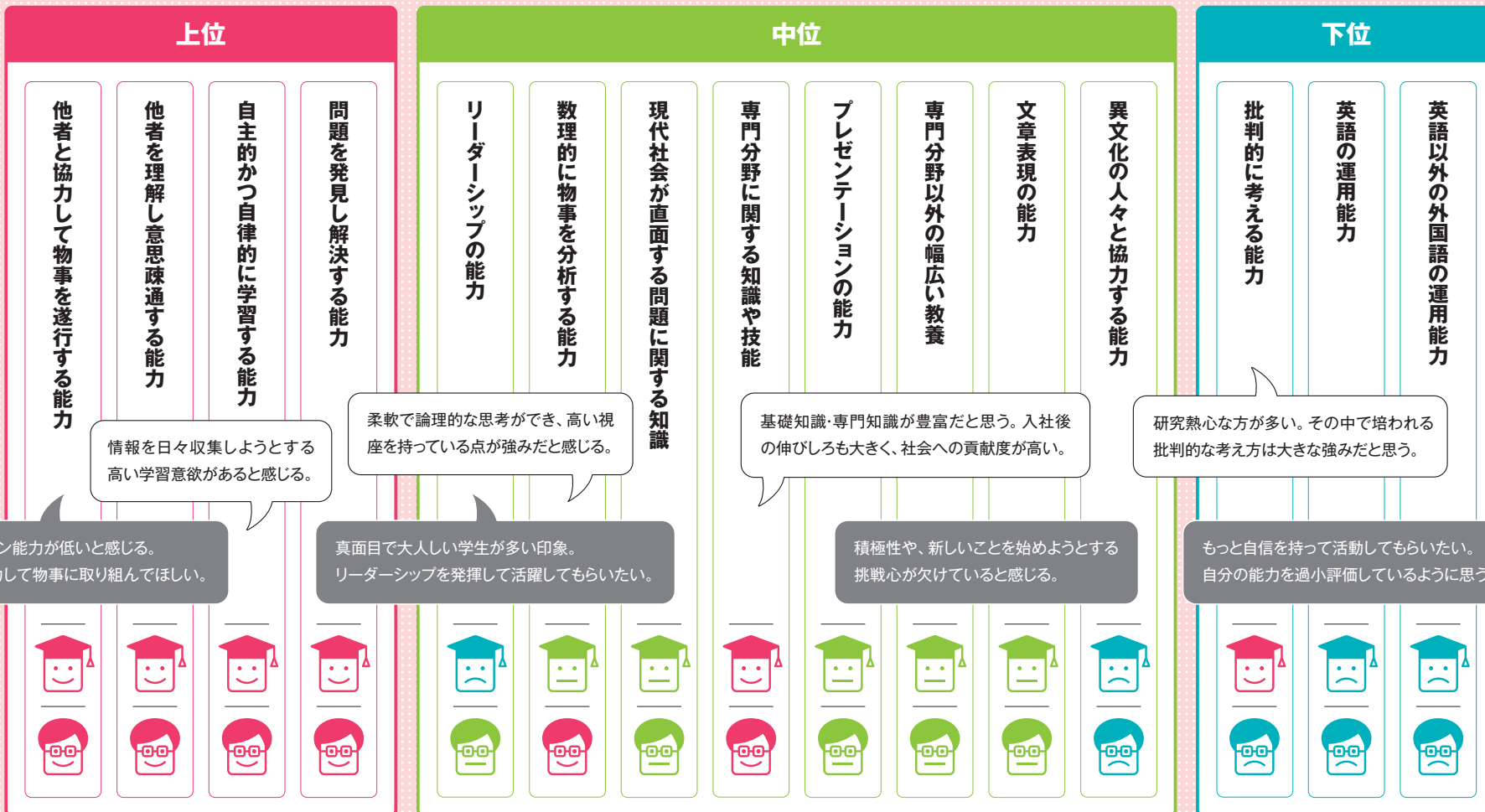


n=(回答数)

卒業・修了生の自分の実力評価(自己評価) n=1532

東北大学出身者に対する雇用者側の評価(他者評価)[※] n=179

※キャリア支援センターによる調査データ





CIRと コラボレーション しませんか？

CIRでは全学的な教育に関する調査分析の他に、学内各所の委員会や部局との連携・協力による改善支援を行っています。

これまでCIRが蓄積してきた様々な教育関連データを用い、教育改善に向けた課題抽出、解決のための情報分析をお手伝いします。

ご興味をお持ちの部局、解決したい課題をお持ちの方がおられればお気軽にお問い合わせください。

例えば、こんなことができます【これまでの実績】

➔ 東北大学学務審議会 / 教育情報・評価改善委員会

CIRは、東北大学学務審議会の下に設置されている教育情報・評価改善委員会からの依頼に基づき、「授業アンケート結果概要」および「成績評価結果概要」をそれぞれ年2回作成しています。それらの報告書は全学教育の科目委員会と共有されることで、教育活動の振り返りと改善に役立てられています。

➔ 物理における「力学概念テスト(FCI)」の活用可能性検証

東北大学・全学教育の「物理」(力学)の一部クラスでは、学修成果を検証すべく、米国で開発された「力学概念テスト(Force Concept Inventory: FCI)」を試験的に導入しています。受講生のFCI得点と入学時の共通テスト(物理)得点との比較調査に基づくFCIの活用可能性検証に際して、CIRからデータ提供を行いました。

CIRが実施する調査のご紹介

CIRでは、過去に実施した調査報告書を配付しております。

入手をご希望の方は下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

【お問い合わせ】教育評価分析センター →→→ cir@ihe.tohoku.ac.jp



2022年
1月
実施

東北大学の教育に関する卒業・修了者調査報告書

第4回の「卒業・修了者調査」は、本学の学部・大学院を2012年度、2016年度、2020年度に卒業・修了した方を対象に実施しました。これらの年度の卒業・修了生には、「東北大学の教育と学修成果に関する調査」の回答も依頼しており、両調査に協力してくれた方々については、主要項目における回答の変化が確認できる調査設計となっています。

本報告書の第1部では調査全体から得られた結果を概観・分析しています。続く第2部では、卒業・修了生の回答や意見を通して、各学部・研究科に自らの教育研究を振り返ってもらった結果を「所見」として掲載しました。さらに第3部には、卒業・修了生の皆様から寄せられた「自由記述」を含む各種資料を掲載しています。

【目次】

第1部 調査の概要と知見

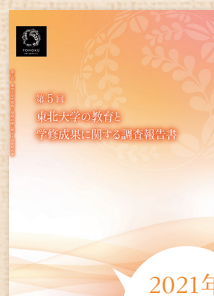
1. 調査結果の概要
2. 学修成果認識と大学教育の貢献

第2部 各部局の結果に対する所見

第3部 資料(基礎(クロス)集計表・自由記述・調査票・参考資料)

【既刊】

卒後10年の経験から見た東北大学の教育：東北大学の教育に関する卒業・修了者調査報告書(2007年1~2月実施/キャリア支援センター編)
「東北大学の教育に関する卒業・修了者調査」結果の概要(2014年2~3月実施/キャリア支援センター編)
2017年度 東北大学の教育に関する卒業・修了者/雇用者調査報告書(2018年1~2月実施/教育評価分析センター・キャリア支援センター編)



2021年
3月
実施

東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書

2012年度から2年に1度実施されている「東北大学の教育と学修成果に関する調査」の第5回報告書が発刊されました。

本報告書では、2020年度に本学を卒業・修了した学生たちが東北大学での経験を振り返った結果をまとめています。これまでの調査結果との経年比較も参考にしつつ、東北大学生の学修成果の現状を正確に把握し、将来を展望するための一素材としてご活用いただける内容となっています。

【目次】

第1部 調査結果全体に関する概要

調査概要と経年比較の結果について
「第7回教育調査研究会」スライド資料

第2部 各部局の結果に対する所見

第3部 資料(基礎集計表・自由記述・調査票)

【既刊】

第1回 東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2013年3月実施)
第2回 東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2015年3月実施)
第3回 東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2017年3月実施)
第4回 東北大学の教育と学修成果に関する調査報告書(2019年3月実施)